

工学研究科電気工学専攻

〔教員養成の目標〕

電気工学専攻では、本学の設立趣旨に基づいた「活学」を体現するため、専門職としての教員に必要な「豊かな人間性」「教職に対する強い使命感」「教科指導に関する専門的知識と幅広い見識」「実践力」という資質・能力の育成をし、工業の専修免許が取得可能なカリキュラムを構築している。

電気工学専攻は学部における「電子情報学系」「人間情報学系」と密接に結びついた専攻であり、指導教員は電気・電力・システム工学・電子デバイス・情報工学など多岐にわたる専門分野を有している教員で構成されている。近年の学部から進学する学生の傾向として、情報分野を専門的に学びたいという学生も少なくない。また、昨今の高度情報化社会における情報教育の重要性や早期化に対応すべく、本学電気工学専攻においても情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を有する教員の育成に対して、強い使命感を持っている。

電気工学専攻では、工業と同等かそれ以上の進学者が予想される情報分野に関して、専門的な講義や演習を通じて、現代社会における情報・マルチメディアの意義や役割を理解させ、高度情報通信社会の諸課題を主体的、合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることができる教員の養成を目標としている。併せて、中学校における技術に関しても、既存の高校における工業や情報の基礎となる知識や技術の習得に加えて、高度情報化社会において必須であるソフトウェアやハードウェア、情報リテラシーといった内容に力を入れた教育が行える教員の養成を目標としている。

〔当該目標を達成するための計画〕

教員養成の計画としては、学部教育において中学技術、高校工業、高校情報の一種免許状の取得が可能なカリキュラムを構築していることから、学部在学時にこれらの教員免許状の取得をサポートする。

また、大学院での専修免許状取得の意義について年度初めの各学年のオリエンテーションで指導する。